

ふくしまちづくり 推進員

自治会長、民生・児童委員などと一緒に、
福祉活動に積極的に参加・協力し「福祉のまちづくり」

を推進することを目的としています。

地域住民のよき相談相手となり、地域に
住む人たちが安心して暮らせるように、
関係機関と連携した活動をしていきます。



ふくしまちづくり推進員は、自治会から選出され、2年任期で自治会を活動範囲とし、住民の皆さんが安心して暮らせるように「気くばり・目くばりをし、お互いに合い支えあう」という「福祉のまちづくり」に参加・協力をしていただく方です。

社会福祉法人
山県市社会福祉協議会

〒501-2104 山県市東深瀬696番地1
TEL0581-23-1211 FAX0581-23-1235

ふくしまちづくり推進員の役割

《みつける》

地域で困っている人、心配な人を。



《つながる》

ボランティア団体や福祉団体と。



《知らせる》

担当地区の民生委員や社協、行政に。



《ひろめる》

地域の人に福祉サービスや情報を。



山県市社会福祉協議会では

ふくしまちづくり推進員のみなさまや福祉について関心のある地域の方々が上記の役割を果たせるよう、一緒に福祉のまちづくりについて考え、いつまでも安心して暮らすことができる山県市となるよう“学ぶ”“考える”“話す”機会の開催を予定しています！

これまでのふくしまちづくり推進員の活動事例



「DIG（災害図上訓練）」と「非常食づくり」を実施

事前に地域の情報を把握することにより、防災意識が高まります。

「いざという時の備え」となるよう地域の防災力向上を目指し、ふくしまちづくり推進員を中心に、このような訓練をすることも重要となります。



自治会長、ふくしまちづくり推進員主体の交流会

高齢者等を含めた交流会を実施することで普段顔を合わせない方と顔見知りになり日ごろの見守りにもつながります。

また、複数の自治会で行うことで横のつながりができ困ったときに相談することが出来ます。